# 外国人支援の現状報告

# ２０２２－２０２３

原　文次郎
反貧困ネットワーク　外国人支援担当理事

# 【コロナ禍の中の支援】
# （2021→2022）外国人支援

＊ささえあい基金による緊急支援
（生活困窮者に対する相談と支援金の提供）

＋医食住の直接支援

①シェルターの提供（2021年3月～）
②家賃補助の支援
③医療支援（相談、同行、費用負担）
④食料提供（フードバンク、食料配送）

# 2022-2023

反-貧困
ANTI-POVERTY CAMPAIGN

- シェルターフル活用（東京都内２、千葉、神奈川）
- 家賃支援の継続（シェルター内、シェルター外）
- 食料支援の継続（フードパントリー、青果配布）
- 居場所づくり（難民・移民フェス→雑技団へ。地域連携）
- 仮放免高校生奨学金プロジェクト
- 政策提言（院内集会など）

**ウクライナ戦争**
**（2022年2月24日～）**

**国境の解放（水際対策の終了）**
**（2022/10/11）**

**トルコ・シリア震災**
**（2023年２月6日）**

# シェルターフル活用

- **シェルター14世帯に**
  **外国籍者（20名）/25世帯中**
  （2023年3月末現在）**56%**

**家賃相当経費概算**
**700万円/年間**

# 家賃支援の継続＝居住の確保（シェルター外）

反-貧困 ANTI-POVERTY CAMPAIGN

- シェルター外支援実績　　20件　家賃68カ月分

2022年度の家賃支援総額＝325万円

→シェルター家賃700万円との合計で1000万円を超える。

# 居場所づくり（１）

- **地域団体との連携・協働**

  あじいる（荒川区）との協働。

  →シェルター住人がボランティア活動に参加。

  リサイクル可能な物資の収集

  隅田川医療相談会ボランティア

- **難民・移民フェス**

第１回難民・移民フェス

（2022年６月４日　練馬）来場者 800人

第2回難民・移民フェス

（2022年11月23日　川口）　　1200人

→第3回難民・移民フェスを5月20日に

練馬駅前の平成つつじ公園で開催予定

# 居場所づくり（２）

- **難民・移民雑技団へ**

　東京都杉並区高円寺

　　北中夜市　　**次回4月16日**

　　なんとかBAR

　　（熱烈歓迎、難民支援BAR！）

　長津田　ぶらり地球さんぽ出店

　　（パルシステム神奈川主催）

→今後は4月15日アースデイ（代々木公園）

　そのほか（練馬・夜のパン屋、東京DEWシェアキッチン等）

　にも続々出店

# 食料支援の継続

- **フードパントリー（しんじゅくフードパントリー）**
  **→ワーカーズコープ東京、シャプラニール（NGO）との共催。相談業務も協力**

- **食料の定期宅配（2022年1月開始、毎月の配送）**

→　Kosatenパントリー
/ほたるパントリー（杉並区）

アディアベバ・エチオピア協会
（葛飾区）
反貧困ネットワークのシェルター
（都内）

「実は食べるものに、ちょっと困っている」という方へ

東京DEWでは、誰もが食に困ったときに無償で食の支援が受けられる「フードパントリー」を実施しています。家庭や企業、生産者からいただいた「もったいない食品」を、必要な方へお渡しします。イベントの時、困っていることを相談することもできます。

レトルトなど日持ちのする食品の配布

しんじゅくフードパントリー　3/11(土) 14時～16時

3月11日(土)に東京DEWにて「しんじゅくフードパントリー」を開催します。日持ちのする食品を中心にお配りします。当日受け取られる方の人数を把握し、全員にお渡しできるようにするため、下記のQRコードから申し込んで下さい。
申込締切日は2023年3月9日(木)です。

【実施日時】2023年3月11日(土)14時～16時

主催団体：ワーカーズコープセンター事業団東京中央事業本部
認定NPO法人シャプラニール＝市民による海外協力の会
一般社団法人反貧困ネットワーク

野菜や果物の配布　3/6(月) 16時～18時30分

よいしごとステーション・フードパントリー

パルシステム東京様より、「よいしごとステーション・フードパントリー」へ、やさいやくだものが提供されます。受け取られる方の人数を把握し、全員にお渡しできるようにするため、下記のQRコードから申し込んで下さい。申込締切日は2023年3月2日(木)です。★生鮮品のため、受取りは当日のみとなります。

【実施日時】2023年3月6日(月)16時～18時30分

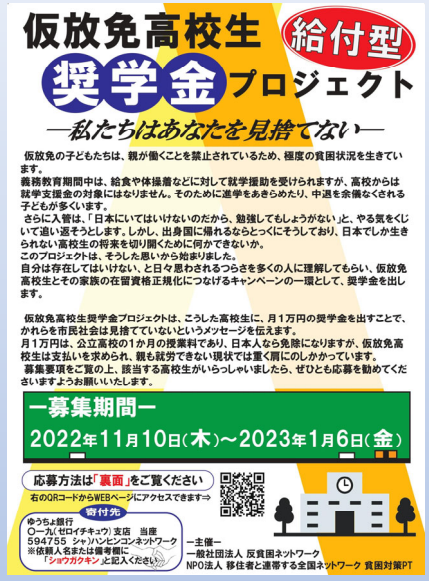
新宿区西早稲田2-4-7)
*東京メトロ東西線早稲田駅より徒歩6分

みが難しい方は、お電話やメールでお申し込みください。
よいしごとステーション　TEL:03-5937-4501
メール:goodjob@roukyou.gr.jp

# 仮放免高校生奨学金プロジェクト

反-貧困
ANTI-POVERTY CAMPAIGN

- 在留資格の無い高校生は高校無償化の対象外とされる。
  幼少期に親に連れられて来日した子どもや日本で生まれ育った子どもたちでも、親に在留資格が与えられないと子どもも在留資格を与えられないケースが多い。



仮放免高校生 給付型
奨学金プロジェクト
―私たちはあなたを見捨てない―

仮放免の子どもたちは、親が働くことを禁止されているため、極度の貧困状況を生きています。
義務教育期間中は、給食や体操着などに対して就学援助を受けられますが、高校からは就学支援金の対象にはなりません。そのために進学をあきらめたり、中退を余儀なくされる子どもが多くいます。
さらに入管は、「日本にいてはいけないのだから、勉強してもしょうがない」と、やる気をくじいて追い返そうとします。しかし、出身国に帰れるならとっくにそうしており、日本でしか生きられない高校生の将来を切り開くために何ができないか。
このプロジェクトは、そうした思いから始まりました。
自分は存在してはいけない、と日々思わされるつらさを多くの人に理解してもらい、仮放免高校生とその家族の在留資格正規化につなげるキャンペーンの一環として、奨学金を出します。

仮放免高校生奨学金プロジェクトは、こうした高校生に、月1万円の奨学金を出すことで、かれらを市民社会は見捨てていないというメッセージを伝えます。
月1万円は、公立高校の1か月の授業料であり、日本人なら免除になりますが、仮放免高校生は支払いを求められ、親も就労できない現状では重く肩にのしかかっています。
募集要項をご覧の上、該当する高校生がいらっしゃいましたら、ぜひとも応募を勧めてくださいますようお願いいたします。

―募集期間―
2022年11月10日(木)～2023年1月6日(金)

応募方法は「裏面」をご覧ください
右のQRコードからWEBページにアクセスできます⇒

寄付先
ゆうちょ銀行
〇一九(ゼロイチキュウ)支店　当座
594755 シャハンセンコンネットワーク
※依頼人名または備考欄に
「ショウガクキン」と記入ください

―主催―
一般社団法人 反貧困ネットワーク
NPO法人 移住者と連帯する全国ネットワーク 貧困対策PT

→将来のためにも高校進学・卒業の機会を失ってはいけない。（奨学金の提供）
→公的支援の必要性を訴えるキャンペーン。

# 政策提言

- 2022年10月20日（反貧困ネットワーク）
「貧困問題の抜本的解決を求める院内集会
＆政党・省庁との対話集会」
→在留資格の無い外国人は実質的に対象外
となる危機感

- 2022年11月2日（移住連、北関東医療相談会との共催）
「在留資格の無い外国人の生存権を求める
院内集会と省庁交渉」
→法務省/入管にとっては居ない者と
みなされる在留資格の無い外国人

- 2023年1月26日院内記者会見
「入管法改定案再提出に反対する共同声明」
（90団体の賛同を得た）

# 外国人向け支援実績（2020−2022.9月）

反-貧困
ANTI-POVERTY CAMPAIGN

+シェルター/家賃支援 2022年10月-2023年3月

## 総合計： 77,552,828円+509万円

緊急給付： 1811名　5053万円
食料配布： 2713名　6849万円
医療支援：　12名　102万円
居住支援：
- シェルター　のべ116名　1479万円+367万円
- 家賃補助　のべ 83件　435万円+142万円

# 課題と今後について必要なこと

引きはがされるセーフティネット（公助）
→政策変更を求める “生きられない！”

“仮放免者にも医療を！” “公営住宅の提供を！”

”就労可能な在留資格を！”

助け合いの協同（共助）
→ともに生きる。でなければ死んでしまう。
“居場所づくり” ”共に仕事ができる様に“